

父親の育児参加に関する基礎的研究

—両親学級開設に対する妊婦とその夫の要望—

若麻績 佳 樹¹⁾，庄 司 順 一¹⁾，川 井 尚²⁾

目的：近年、育児における父親の役割が重視されてきている。とくに、核家族化が著しい現代社会においては、いっそう父親の役割は重要であるといえよう。しかし、いわゆる父性意識、あるいは父親行動については、まだ実証的な研究は少ない。筆者らの文章完成法（SCT）を用いた研究においては、父性意識の発達は、母性意識と同様に、児の出生後に始まるのではなく、妊娠期を準備として考える必要のあることを示唆している。

当院においても、父親の父性意識を高め、母親への理解・協力と育児への参加をより容易にするために、現行の母親学級に加えて、父親を交えた両親学級の開設を検討しているところである。今回、両親学級についての要望を明らかにするために、アンケートを作成し妊婦とその夫に実施し、若干の知見を得たので報告する。

方法：アンケートの作成）両親学級についての要望を主な内容としたアンケートを作成した。これは、妊婦用と、ほぼ同じ内容の夫用とがある。2種類作成した理由は、妊婦自身の要望と

夫の要望とを比較検討するためである。

対象および手続き）産科外来を受診した、あるいは母親学級に参加した妊婦にアンケートを配布し、記入を依頼した。同時に、夫用のアンケートを渡し、家で夫に記入してもらうことを依頼した。妊婦用はその場で回収し、夫用は次回来院時に回収するようにした。

結果および考察：アンケートは現在も実施しているが、今回は妊婦60名とその夫54名の結果について検討する。

1) 両親学級の開設について（表1）

妊婦については、両親学級の開設を希望するのは約60%であったが、どちらともいえないとしたものも、夫は仕事で参加できないだろうというものが主で、希望しなかったのは2名（3.3%）にすぎなかった。妊娠期別にははっきりとした傾向は見られなかった。妊娠回数別に検討すると、今回が初めての妊娠のものの方が両親学級開設への希望は多かった。また、両親学級を希望しないと答えた2名はいずれも今回の妊娠が2回目以上のものであった。

1) 都立母子保健院 2) 東京都精神医学総合研究所

夫については、両親学級の開設を希望するものは、妊婦とほぼ同様の約60%であったが、希望しないものは9.3%と妊婦よりやや高くなっていた。妊娠期別には、前期・中期に対象例が少ないためにはっきりしたことはいえない。妊娠回数でみると、今回の妊娠が初回の場合は両親学級を希望するものが多く、2回目以上では希望しないものが比較的多くなっていた。

2) 夫立ち会い分娩について (表2)

次に、夫立ち会い分娩への希望について検討しておこう。妊婦では、夫立ち会い分娩を希望するもの、希望しないもの、どちらともいえないとしたものが、ほぼ1/3ずつであった。ここでも、妊娠期別には差はみられず、妊娠回数別にみると、一定の傾向が認められた。すなわち、初回妊娠の方が、2回目以上の場合より、夫の立ち会いを希望するものが多かった。

夫自身については、立ち会い分娩を希望するものは約1/4で、希望しないものが約44%となっていた。妊娠回数別にみると、初回妊娠では約30%が希望し、2回目以上では希望するのはわずか7.7%にすぎず、約70%は希望しないとなっていた。

3) 両親学級の開設日 (表3)

妊婦では、約半数は土曜日または日曜日の午後であり、「その他」の多くは土曜日、日曜日のいずれでもよいとするものであった。

夫では「その他」が多いが、その多くは土・日のいずれでもよいとするもので、一部に平日を希望するものもいるが、大勢は週末を希望しているといえよう。

4) 父親が子どもに関わりはじめる時期 (表4)

妊婦の希望は、ほとんど(93.3%)は妊娠中から関わってほしいというものであった。つまり、胎児に関心を持ち、胎動を喜んだり、おなかの胎児へ話し掛けたりしてほしいということであろう。ここでは、妊娠前期や初回妊娠の妊婦の方が、妊娠中から父親に関わってほしいという希望がうかがえた。

これに対し、夫の方は、妊娠中からというのは約半数にすぎず、生まれた後で良いとするものが約40%を占めていた。これは、妊娠回数別にみるといっそう顕著である。

いずれにしろ妊婦の期待と夫の意識との間にはかなり差があるといえる。

5) 夫にやってもらいたい育児行動と家事行動

妊婦にとって、子どもが生まれたら夫にやってほしいことは、お風呂に入れる、子どもと遊ぶ、子どものおもり、オムツを代える、ミルクを与える等の順であった。妊娠前期では、掃除、買物がやや多く、後期ではオムツを代えるが多くなっていた。前期ではつわりによる身体的な負担が反映しているのであろう。後期ではより現実的に育児を考えているようである。初回妊娠の場合には、子どもと遊ぶ、子どものおもりが多く、他方、今回の妊娠が2回目以上である場合には、オムツを代える、ミルクを与える等より現実的な育児への援助を妊婦は希望している。

これに対し、夫がやろうと思っていることは、上位の内容はあまり差がなく、子どもと遊ぶ、お風呂に入れる、子どものおもりであった。しかし、このあとは、買物、掃除と家事行動が続く、特にオムツを代えることは妊婦の期待とは

差がある。

妊娠回数別にみると、初回では掃除、洗濯、食事をつくるなど家事を通しての妊婦への援助を考えているのに対し、2回目以上では、オムツを代える、子どもと遊ぶ、ミルクをあげる等育児行動への関与が多くなっている。このことは、父親においても、実際の育児経験が、育児行動に影響を与えることを示していると考えられる。

まとめ：以上の結果から、両親学級開設への要望は多く、その開設日は土曜日または日曜日が適当と考えられた。また夫立ち会い分娩を希望するか否かについては妊婦の意見は分かれた。夫自身は、妊婦よりは分娩に立ち合うことへの希望は少なかった。

父親が子どもと関わりはじめる時期については、妊婦では妊娠中からとするものがほとんどで、妊婦として夫に早い時期から赤ちゃんに関心をもってほしいことが示唆された。しかし、夫は赤ちゃんが生まれてからで良いとするものも多かった。

妊婦にとって夫にやってもらいたいこととしては、家事行動よりも育児行動への援助を期待しているように思われたが、夫はむしろ家事行動をしたいようであった。しかし、このような夫の態度も、実際の育児経験によって変わり、妊娠2回目以上ではオムツを代えるなどの育児行動も行なうようである。

今回の分析はやや例数が少ないので、今後例数を増やすとともに、両親学級の内容についても整理する必要がある。それらの結果を参考に

しつつ、両親学級の開設について、さらに検討していきたい。

表1 両親学級の希望 (%)

妊婦		N	希望する	希望しない	どちらとも いえない	
妊婦	妊婦					
計		60	61.7	3.3	35.0	
妊娠期	前期	20	60.0	5.0	35.0	
	中期	20	55.0	5.0	40.0	
	後期	20	70.0	0.0	30.0	
妊娠回数	初回	38	68.4	0.0	31.6	
	2回目以上	22	50.0	9.1	40.9	
夫		計	54	59.3	9.3	31.5
妊娠期	前期	5	100.0	0.0	0.0	
	中期	15	40.0	20.0	40.0	
	後期	34	61.8	5.9	32.4	
妊娠回数	初回	41	63.4	4.9	31.7	
	2回目以上	13	46.2	23.1	30.8	

表2 夫立ち会い分娩の希望 (%)

妊婦		N	希望する	希望しない	どちらとも いえない	
妊婦	妊婦					
計		60	31.7	35.0	33.3	
妊娠期	前期	20	30.0	35.0	35.0	
	中期	20	20.0	35.0	45.0	
	後期	20	45.0	35.0	20.0	
妊娠回数	初回	38	34.2	28.9	36.8	
	2回目以上	22	27.3	45.5	27.3	
夫		計	54	24.1	44.4	31.5
妊娠期	前期	5	40.0	60.0	0.0	
	中期	15	26.7	53.3	20.0	
	後期	34	20.6	38.2	41.2	
妊娠回数	初回	41	29.3	36.6	34.1	
	2回目以上	13	7.7	69.2	23.1	

表3 両親学級の希望日時

(%)

妊婦	妊婦	N	土曜日	日曜日	その他	記入なし
			PM	PM		
計		60	20.0	23.3	36.7	20.0
妊娠期	前期	20	25.0	30.0	20.0	25.0
	中期	20	20.0	10.0	45.0	25.0
	後期	20	15.0	30.0	45.0	10.0
妊娠回数	初回	38	18.4	26.3	42.1	13.2
	2回目以上	22	22.7	18.2	27.3	31.8
夫 計		54	22.2	31.7	44.4	29.6
妊娠期	前期	5	20.0	0.0	80.0	0.0
	中期	15	6.7	0.0	46.7	46.7
	後期	34	29.4	5.9	38.2	26.5
妊娠回数	初回	41	24.4	4.9	43.9	26.8
	2回目以上	13	15.4	0.0	46.2	38.5

表4 父親が子どもとかかわりはじめる時期

(%)

妊婦	妊婦	N	妊娠中から	赤ちゃんの	()才頃
			ときから	ときから	から
計		60	93.3	6.7	0.0
妊娠期	前期	20	85.0	15.0	0.0
	中期	20	95.0	5.0	0.0
	後期	20	100.0	0.0	0.0
妊娠回数	初回	38	97.4	2.6	0.0
	2回目以上	22	86.4	13.6	0.0
夫 計		54	53.7	40.7	5.6
妊娠期	前期	5	100.0	0.0	0.0
	中期	15	33.3	53.3	13.3
	後期	34	55.9	41.2	2.9
妊娠回数	初回	41	61.0	36.6	4.9
	2回目以上	13	30.8	53.8	7.7

表5 夫にやってもらいたいこと(妊婦用)、夫がやろうとおもっていること(夫用)

(%)

妊婦	妊婦	N	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			ミルク	おむつ	おふろ	遊ぶ	おもり	洗濯	掃除	買い物	食事	その他
計		60	21.7	35.0	91.7	81.7	38.3	3.3	8.3	13.3	5.0	1.7
妊娠期	前期	20	25.0	20.0	95.0	90.0	40.0	0.0	15.0	15.0	0.0	0.0
	中期	20	15.0	30.0	95.0	95.0	40.0	5.0	0.0	5.0	10.0	5.0
	後期	20	25.0	55.0	85.0	60.0	30.0	5.0	10.0	20.0	5.0	0.0
妊娠回数	初回	38	18.4	31.6	92.1	84.2	44.7	5.3	7.9	15.8	5.3	2.6
	2回目以上	22	27.3	40.9	90.9	77.3	27.3	0.0	9.1	9.1	4.5	0.0
夫 計		54	18.5	16.7	66.7	72.2	46.3	5.6	22.2	24.1	3.7	11.1
妊娠期	前期	5	20.0	40.0	80.0	80.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	中期	15	13.3	6.7	60.0	60.0	53.3	6.7	33.3	33.3	0.0	13.3
	後期	34	20.6	17.6	67.6	76.5	44.1	5.9	17.6	20.6	5.9	11.8
妊娠回数	初回	41	17.1	9.8	65.9	68.3	46.3	7.3	24.4	22.0	4.9	14.6
	2回目以上	13	23.1	38.5	69.2	84.6	46.2	0.0	15.4	30.8	0.0	0.0

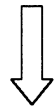
表6 夫にやってもらいたいことと、夫がやろうと思っていること

順位	夫にやってもらいたいこと	夫がやろうと思っていること
1	おふろにいれる (91.7%)	子どもと遊ぶ (72.2%)
2	子どもと遊ぶ (81.7%)	おふろにいれる (66.7%)
3	子どものおもり (38.3%)	子どものおもり (46.3%)
4	おむつを替える (35.0%)	買い物 (24.1%)
5	ミルクをあげる (21.7%)	掃除 (22.2%)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



目的:近年、育児における父親の役割が重視されてきている。とくに、核家族化が著しい現代社会においては、いっそう父親の役割は重要であるといえよう。しかし、いわゆる父性意識、あるいは父親行動については、まだ実証的な研究は少ない。筆者らの文章完成法(SCT)を用いた研究においては、父性意識の発達は、母性意識と同様に、児の出生後に始まるのではなく、妊娠期を準備として考える必要のあることを示唆している。

当院においても、父親の父性意識を高め、母親への理解・協力と育児への参加をより容易にするために、現行の母親学級に加えて、父親を交えた両親学級の開設を検討しているところである。今回、両親学級についての要望を明らかにするために、アンケートを作成し妊婦とその夫に実施し、若干の知見を得たので報告する。